

生物多様性保全を促進する消費・ライフスタイル形成、普及に関する調査研究・啓発活動～普及啓発の論拠の点検から持続可能な消費・生産(SDGs目標12)、地域活性化との連携・展開を目指して～

〒180-0022
東京都武蔵野市境1-11-19
モウトAPT102
電話:0422-54-4885
E-mail:info@jwcs.org
https://www.jwcs.org/



ひろげる助成

2年目

調査研究



研究報告会の様子

研究報告会参加者数	15人
ガイドブック配布数	400部
今年度計画の達成度	90%
活動の全体目標に対する達成度	70%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

報告書の執筆者が、執筆内容の相互理解や章立ての順番などについて、検討する場に全員が集まることができず、試行錯誤した。

■ 工夫した点

ガイドブックは一般向けのため、多くの内容を少しずつ盛り込み、写真を多用して読みやすさを優先した。

課題

生物多様性保全に結びつく明解な論拠やアクションは、きわめて不十分な状況にあり、普及啓発活動が行いにくい状況。

目標

普段の日常的な生活との関わりの中で、消費者・生産者がそれぞれの立場で生物多様性保全のための行動について、普及対象者の8割以上が理解して、6割以上が実践している。

活動内容と成果

今年度は、報告書及びガイドブックを作成する年だった。そのため、執筆者へ原稿依頼し、報告書を完成させ、ガイドブックを作成した。

エコプロダクツ展では、ブースに立ち寄った人に対してアンケートを行い、

研究報告会に参加した人からご意見をいただき、その結果をガイドブックに活かした。また次年度に行う予定である普及ツール作成へ活かす予定である。

ガイドブックを受け取った方々からは、「他の人に紹介したい」「何かいっしょにやれることはないか」などの返信があり、好評を得た。



報告書・ガイドブック

今後の展望

作成したガイドブックを元にして、IUターンする若者向け等の小冊子を作成する。またガイドブックを活かしてセミナーを開催し、消費者団体・企業のCSR担当者・地域づくり団体・環境NGOへ普及を行う。